

### エバーライトモールライト（屋外用）

品名	灯具品番	適合アーム	適合ポール	適合ランプ(別売)							
				品番	W数	単体光色	器具組込時のランプ光色(P2参照)				
エバーライトXY5454	YEV41851	YD530K	・エバーライトモールライト用ポール(3.5m) ・トクポール(モールライト用)φ76タイプ (ミディアムグレーメタリック) 環境配慮型溶融亜鉛メッキタイプ 耐風速60m/s	YK99846	50W	白色	A	A: 昼白色タイプ (4400~5100K)  B: 温白色タイプ (3200~3900K)			
エバーライトXY5484				YK99847		電球色	B				
エバーライトXY5455	YEV41852			YK99846		白色	A				
エバーライトXY5485				YK99847		電球色	B				
エバーライトXY5456	YEV41853			YK99846		白色	A				
エバーライトXY5486				YK99847		電球色	B				
エバーライトXY5854	YEV42951			YD530K		・エバーライトモールライト用ポール(4.5m) ・トクポール(モールライト用)φ76タイプ (ミディアムグレーメタリック) 環境配慮型溶融亜鉛メッキタイプ 耐風速60m/s ・トクポールXY4550CHN ・YD4549CHN	YK99941		140W	白色	A
エバーライトXY5884							YK99942			電球色	B
エバーライトXY5855	YEV42952						YK99941			白色	A
エバーライトXY5885							YK99942			電球色	B
エバーライトXY5856	YEV42953	YK99941	白色		A						
エバーライトXY5886		YK99942	電球色		B						

※アーム・ポールの取扱説明書は別途アーム・ポールに添付しております。必ずご参照ください。

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

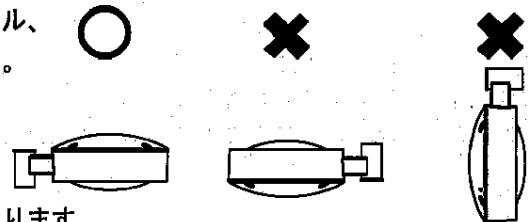
#### 施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

#### 安全に関するご注意

### ⚠ 警告

- 施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。施工に不備があると、感電・火災・落下・ポール転倒の原因となります。
- 接地工事(D種接地工事)を確実にを行う。接続に不備があると感電の原因となります。【電気設備技術基準】
- 器具の改造は、絶対に行わない。  
感電・火災・落下・ポール折れの原因となります。
- 振動や衝撃の多い場所(橋や高架上等)、塩素を使用している屋内プール、温泉地等の腐食性ガスの発生する場所、海岸隣接地域では使用しない。  
感電・火災・落下・ポール折れの原因となります。
- 防雨型下側向き取付専用器具です。灯具の逆付け、横付けは行わない。  
感電・火災・落下の原因となります。
- ポールは必ず専用のものと合わせて使用する。ポール折れの原因となります。
- 浴室、温水プール等の湿度の高い場所では使用しない。  
絶縁不良による感電および腐食による器具落下の原因となります。
- 口出線との接続はスリーブ等により確実に、自己融着テープを巻いてから絶縁テープを巻いて仕上げ、十分に絶縁・防水処理をする。接続に不備があると感電の原因となります。



灯具の逆付け 灯具の横付け

### ⚠ 注意

- この器具は一般屋外用(防雨型)器具です。それ以外の場所では、使用しないでください。感電・火災・落下の原因となります。
- 60m/s仕様です。これ以上の風速の影響を受ける場所では、使用しないでください。器具落下・ポール転倒の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧±6%)・周波数以外の電源で使用しないでください。感電・火災の原因となります。
- 周囲温度35℃以上での使用はしないでください。又、施工時の一時的な点灯確認以外の日中点灯はしないでください。  
火災およびランプユニットの短寿命・破損の原因となります。
- 始動時に突入(インラッシュ)電流が発生します。弊社製配線器具に接続できる灯具台数は、承認図または次ページ注1)を参照してください。接続に不備があると火災の原因となります。
- ポールにはしごをかけての施工やバケット車の使用できないような狭い場所では使用しないでください。  
ポールのキズつき、傾き、けがの原因となります。

# 各部のなまえと取付けかた

## 警告

- ・器具の取付けは、施工説明書にしたがい確実にを行う。
- ・取付けに不備があると器具の落下、感電・火災の原因となります。
- ・活線での作業は行わない。感電の原因となります。
- ・ランプの着脱及び取扱い時は、落下・衝撃などによる破損に備え、安全のため眼鏡などを使用し、目の保護を行う。

## 注意

- ・電気工事店などの専門家以外は、天板をあげないでください。
- ・ランプの取付け取外し時は、必ず電源を切って作業してください。
- ・ランプに衝撃を加えないでください。
- ・ランプが破裂し、ガラスが飛散する可能性があります。

弊社製配線器具に接続できる灯具台数は下表を参照してください。注1)

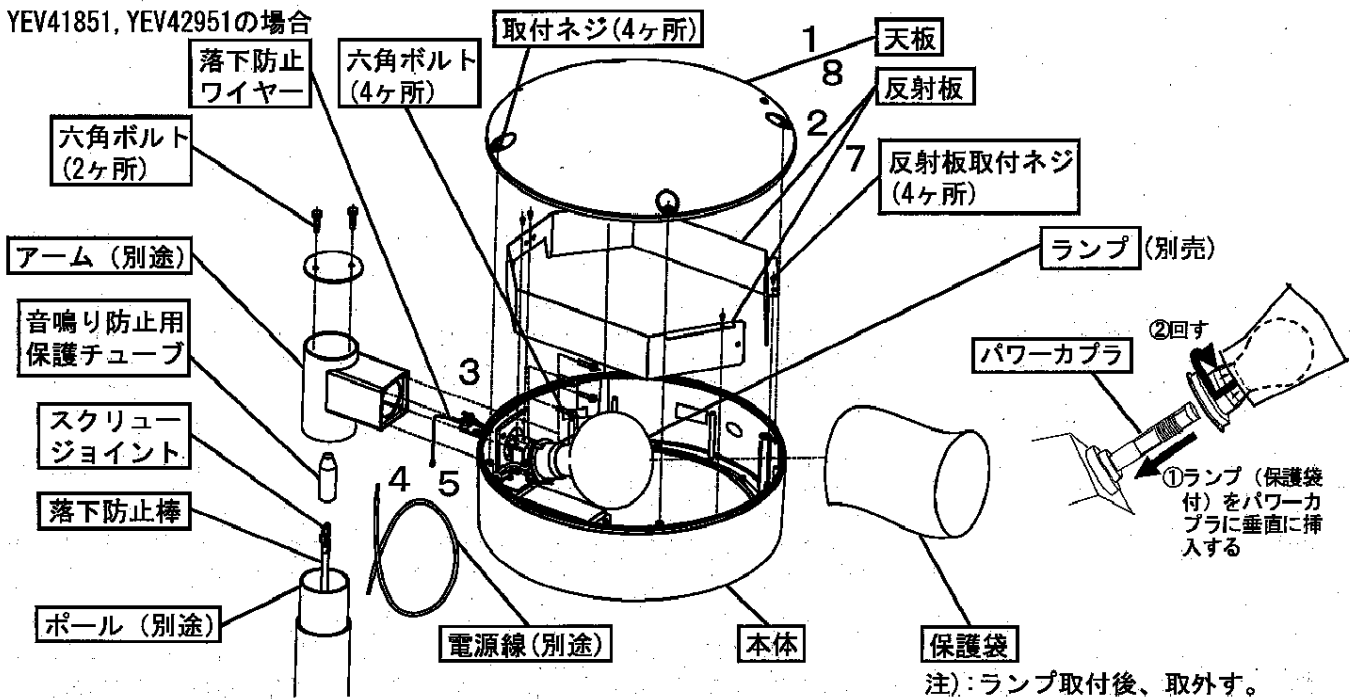
弊社製配線器具	エバー50				エバー140			
	AC100V	AC200V	AC242V	感度電流	AC100V	AC200V	AC242V	感度電流
15Aフルカラススイッチ	16台	30台	24台	—	9台	7台	6台	—
20Aフルパワーリモコンリレー	16台	34台	40台	—	9台	19台	21台	—
T/U付6Aリレーユニット	6台	14台	16台	—	4台	8台	9台	—
20AリモコンブレーカCL型	14台	28台	32台	—	7台	15台	17台	—
20Aカンタッチブレーカ	14台	28台	32台	—	7台	15台	17台	—
20Aコンパクトブレーカ	14台	24台	—	—	7台	6台	—	—
20A HAブレーカ	14台	28台	—	—	7台	15台	—	—
20Aリモコン漏電ブレーカCLE型	14台	28台	—	15mA/30mA	7台	15台	—	15mA/30mA
20Aカンタッチ漏電ブレーカBKFE型	14台	28台	—	30mA	7台	15台	—	30mA
20Aコンパクト漏電ブレーカ	14台	24台	—	30mA	7台	6台	—	30mA
20A小型漏電ブレーカ	14台	28台	—	30mA	7台	15台	—	30mA

接続に不備がありますと感電・火災の原因となります。

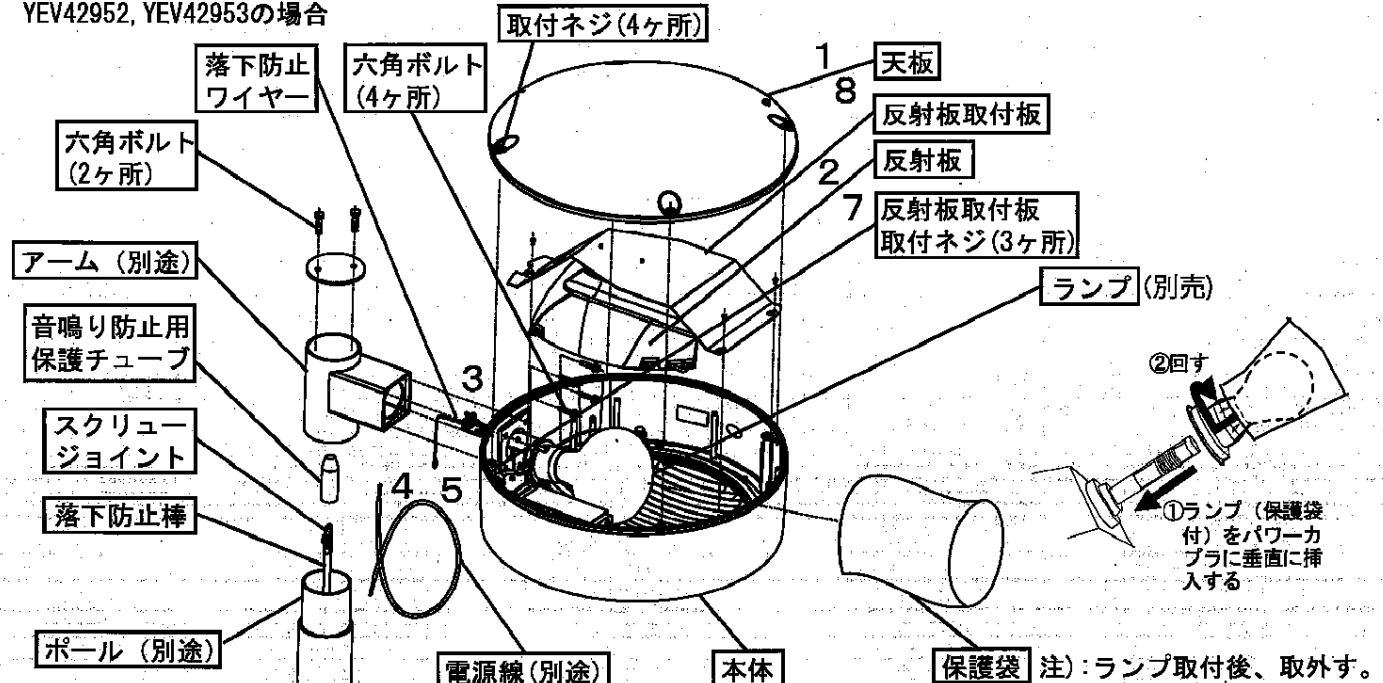
## 器具組込時のランプの光色について

- 注1)ランプ光色は器具組込時の温度上昇により高色温度側にシフトします。
- 注2)始動時は、ランプ単体の光色となり器具温度に伴って色温度が変化します。

YEV41851, YEV42951の場合



YEV41852, YEV41853  
YEV42952, YEV42953の場合



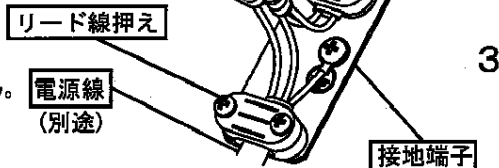
1. 天板を取外す。  
・取付ネジ4ヶ所をゆるめ、天板を取外す。

2. 反射板を取外す。  
・反射板取付ネジ(3ヶ所又は4ヶ所)をゆるめ、反射板を取外す。

3. 電源線を口出し線に結線する。  
・電源線は3心ケーブル(φ2.0, 3.5mm以下)をご使用ください。それ以上は通せません。  
・電源線は必ずシーズ部をリード線押えでしっかりと固定してください。  
ケーブルの押え量はケーブルの1/4程度としてください。  
・接地端子を使用してD種(第3種)接地工事を行ってください。  
接地が不完全な場合、感電の原因となります。

自己融着テープ  
及び絶縁テープ  
(別途)

接続線をスリーブ等で結線後  
自己融着テープで処理し  
絶縁テープでテーピングする。



電源ケーブル押えの使用方法

- ・電源ケーブル押えを取り外す。
  - ・引き込み電源ケーブル(丸型または平型ケーブル)を選定する。
  - ・\*平型ケーブルを使うときのみ、電源ケーブル押えを逆さまにする。
- ◎丸型ケーブルの場合 (梱包時は丸型ケーブル止めの状態になっています。)  
外径 (φ9.8mm~φ13mm)
- ◎平型ケーブルの場合  
外径 (6.2mm×9.4mm~7mm×15mm)



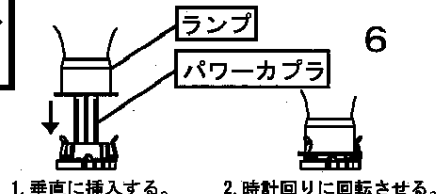
4. アームに電源線と落下防止ワイヤーを通す。
5. 本体をアームに取付ける。  
・電源線のかみ込みに注意しながら、六角ボルト4ヶ所をしっかりと締め付けて固定してください。(推奨締付トルクM6: 7.6N・m)  
不備がありますと落下の原因となります。

警告

ランプの着脱及び取扱い時は、落下、衝撃などによる破損に備え、安全のため眼鏡などを使用し目の保護を行う。

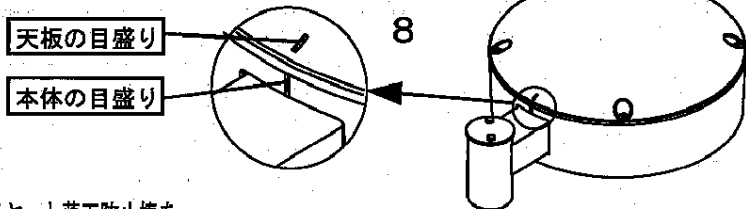
6. ランプを取付け保護袋を取外す。  
・ランプを取付けた後、保護袋を取外してください。  
取外し忘れると、火災の原因となります。
7. 反射板を取付ける。  
・反射板取付ネジ(3ヶ所又は4ヶ所)で反射板を取付けてください。

ランプの取扱説明書に従って、必ず付属の保護袋をかぶせ、取り付けてください。

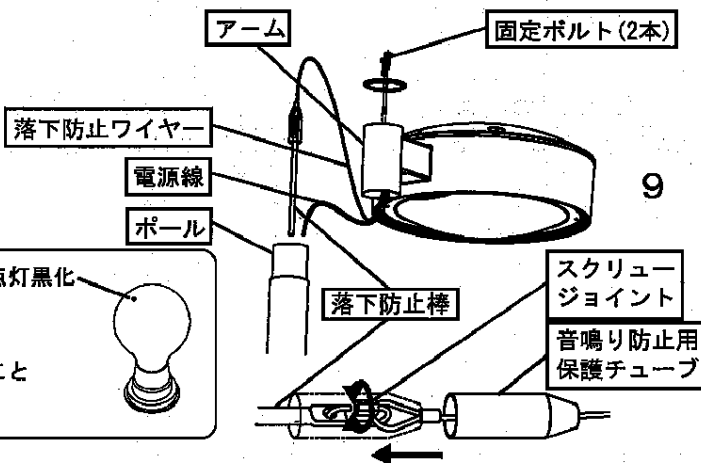


1. 垂直に挿入する。
2. 時計回りに回転させる。

8. 天板を取付ける。  
・天板の目盛りと本体の目盛り位置を合わせてください。  
取付ネジ4ヶ所で天板を取付けてください。  
(推奨締付トルクM5: 2.1N・m)  
締め付けが不十分ですと、落下や浸水の原因となります。



9. アームをポールに取付ける。  
・音鳴り防止用保護チューブを落下防止ワイヤーに通してから落下防止ワイヤーと落下防止棒をスクリージョイントで確実に接続してください。接続に不備がありますと落下の原因となります。  
・電源線、落下防止棒をポール内に挿入してください。  
・アームの固定ボルト(2本)を工具を用いて平均的にしっかりと締め付け固定してください。(推奨締付トルクM6: 7.6N・m)  
・線のかみ込みにご注意ください。漏電や感電の原因となります。



■初期点灯黒化について  
点灯初期に発生する現象です。  
管内の水銀がバルブ上部に付着することによって起こります。  
点灯中は、温度の上昇によって水銀が蒸発し、黒化は消えます。  
点灯後、再度黒化が発生することがありますが、点灯を続けることで黒化は減少します。  
この現象は、ランプの寿命や特性には影響ありません。

初期点灯黒化



ランプ交換方法

1. 天板を取外す。  
・取付ネジ4ヶ所を外し、天板を取外す。
2. 反射板を取外す。
3. ランプを取外す。
4. ランプを取付ける。
5. 反射板を取付ける。
6. 天板を取付ける。  
・天板を本体に取付ネジで確実に固定する。  
取付ネジ(4ヶ所)はしっかりと締め付けてください。  
締め付けが不十分ですと落下や浸水の原因となります。

ランプの取扱説明書に従って、必ず付属の保護袋をかぶせ、取替えてください。

警告

ランプの着脱及び取扱い時は、落下・衝撃などによる破損に備え、安全のため眼鏡などを使用し目の保護を行う。

注意

- 電気工事店などの専門家以外は、反射板をはずさないでください。
- ランプの取付け、取外し時は必ず電源を切って作業してください。
- ランプに衝撃を加えないでください。ランプが破損し、ガラスが飛散する可能性があります。

ランプ交換は、ランプの取扱説明書に従って、作業を行ってください。

## 使用上のご注意

他システムとの相互干渉について

- 入退室管理システムなどに用いられているRFID機器の近傍では、RFID機器が動作しにくくなる場合があります。目安として器具から4m以上離れるよう設置ください。
- 車載用キーレスエントリーシステムの近傍ではドアの開閉など、動作しにくくなる場合があります。目安として器具は車のドアから2m以上離れるよう設置ください。
- 電力線搬送通信PLCの通信用電力線近傍では、通信速度低下など通信に影響を及ぼす場合があります。
- テレビ用電波の弱い地域では、テレビアンテナの近傍は避けてください。テレビにノイズが発生する場合があります。目安としてアンテナから2m以上離れるよう設置ください。

## 取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

## 安全に関するご注意

より安全にお使いいただく為に  
前ページもお読みください。

下記事項をお読みにになり正しくお使いください。誤った使い方をされると落下の原因になります。

## 警告

- 器具の改造および構成部品の交換をしない。感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。感電・火災の原因となります。
- かけやひび割れの発生しているグローブは使用しない。感電・火災・落下の原因となります。

## 注意

- お手入れの際には、必ず電源を切ってから行ってください。感電・やけどの原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置場所により環境ストレスは異なります。ご使用期間が15年に満たなくても発錆があればすぐに点検・交換をしてください。また、設置して15年<sup>※</sup>経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換を行なってください。<sup>※</sup>使用条件は周囲温度30℃、1日12時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間使い続けるとまれに感電・火災・落下などに至る場合があります。

## 保証について

- 保証について  
この商品の保証期間は1年間です。エバーライトユニットは3年間です。但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について  
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品(電気部品)について  
弊社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

## お手入れについて

## 注意

- 必ず電源を切って行なってください。感電・やけどの原因になります。
- 器具の本体を外しての作業は行わないでください。必要な場合は、電気工事店にご依頼ください。ランプ破損時、事故の原因となります。
- 器具の清掃について・・・汚れを落とす場合は、石けん水にひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。アルカリ系洗剤、シンナー、ベンジンでふかないでください。変色・変質の原因となります。強い水圧をかけての清掃はしないでください。感電の原因となります。
- ランプ交換について・・・万一、衝撃などにより、ランプが破損してしまった場合のランプ補修は、販売店・電気工事店にご依頼ください。

## 定 格

品 名	定格電圧	定格周波数	入力電流	消費電力	ランプ電力
エバーライト50	AC100V - 242V	50Hz/60Hz	0.58A - 0.24A	57W - 55W	50W
エバーライト140	AC100V - 242V	50Hz/60Hz	1.65A - 0.70A	160W - 155W	140W

パナソニック株式会社 ライティング機器ビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニックお客様ご相談センター 0120-878-365 (フリーダイヤル) 0120-878-236 (FAX)

MN0709-021213